

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャレンジラボ				公表日	2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	法令を遵守しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	子どもの特性や状態等に応じて個別対応ができる体制をとっています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	学校に近い構造を取り入れ、安心して取り組める環境を整えています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	定期的に清掃を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	クールダウンが必要な場合や、着替えの練習等プライバシーへの配慮が求められる場面等では、相談室を活用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	現状の問題とその改善策について職員間で共有し、改善にあたっています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	面談や送迎等、日々のやり取りの中でもニーズの把握に努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	問題やより改善できる箇所などは共有し、改善策について議論し、支援等につなげています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		外部評価は未実施です。外部の視点を取り入れた質の向上を検討します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所内の研修を実施しています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページ上で公開しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	子どもに対してのアセスメント後に、保護者等や職員の意見をニーズ整理表を活用してまとめ、計画に反映させています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員間で現状を共有し、本人中心の計画作成に取り組んでいます。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	スタッフ全員で共有しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	日々の行動観察を継続して行っています。	フォーマルなアセスメントツールも状況に応じて導入の検討を行います。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	本人中心の計画作成に取り組んでいます。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	スタッフ全員の意見から、多様な活動をプログラムに組み込むことができています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	幅広くいろいろな活動を行えるように工夫しています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	特性や状況に応じて柔軟に計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援内容と来所するこどもの特性を考え、起こり得る状況について相談しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	次の支援に繋げるための情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の記録を縦断的なデータとして支援に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	モニタリングは定期的に行い、6ヶ月に1回以上の計画の更新を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	複数の活動を組み合わせ支援に繋げています。	4つの基本活動のひとつ「地域交流の活動」については今後の課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動の中で選択の機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	子どもの直接支援に当たっている職員が必ず参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	保護者等の同意のもと、学校との連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	電話や学校訪問等により情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	保護者等の同意のもと、必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	保護者等の同意のもと、必要に応じて情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8		必要に応じて助言が受けられる体制づくりに努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		地域交流は現状行っていません。子どものニーズを踏まえ、検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		本年度は不参加でしたが、参加の検討を行います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日常的には送迎時や面談時に情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	保護者勉強会を実施しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時・面談時や、質問があった際には丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	聞き取り等を行い、本人中心の計画として反映させています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	面談時に説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて面談等により相談に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	保護者交流会を実施しています。	きょうだい同士の交流の機会についてはニーズを調査し検討を行います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	面談時に周知を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	HPやブログ等により情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報保護方針を定めて運用しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	ツールの活用等、必要に応じて柔軟に配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		個人情報の保護など課題はありますが、今後の取り組みとして検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	家族等には面談時に周知しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	避難訓練等を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	インテーク時に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	インテーク時に確認を行い、食品を扱う際には必ず確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画に基づき支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	面談時に周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット報告書は目に付く位置に掲示して共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束は行わない原則の上で、やむを得ない場合の方針を定めています。		